

資格プログラム 募集要項

2026年6月

トランスコスモス株式会社

All your dreams can come true if you have the courage to pursue them.

2026年度4月

DX人材育成プログラム 資格取得シラバス

可能性を広げるデジタル時代の学び

統計検定 準1級



①基本情報

- **提供団体**：統計質保証推進協会（一般社団法人 日本統計学会が監修）
- **対象者**：大学で統計学を学んでいる学生、データサイエンスや社会調査に関心のある中上級者
- **試験内容**：推測統計・統計的仮説検定・回帰分析・分散分析・時系列解析などの応用的な統計手法とその理論を出題 ※実務的な活用力よりも、統計理論に重点 ※電卓の持ち込み可（条件あり）
- **試験概要**：試験時間90分/出題数25問～35問程度

②特徴とメリット

- **学べる内容**
 - ・ 統計的仮説検定、推定、分散分析、回帰分析、時系列解析、統計的モデリングなど中上級レベルの理論と応用
- **習得できるスキル**
 - ・ 理論に裏付けられた高度な統計解析の力、分析設計力、専門的な判断力
- **メリット**
 - ・ 統計学分野での専門性をアピールできる
 - ・ データサイエンティストや研究職などでの実力証明になる
 - ・ 社会調査士や公的試験・企業採用での評価対象になることもある

③試験の難易度・対策

- **難易度**：上級（10段階中：7）統計理論と応用、データ解析力が必要 ※理系学生向け
- **勉強時間の目安**：150～300時間
- **学習リソース**：統計学の教科書（例：東京大学出版会『統計学入門』等）、問題集、過去問、オンライン講座
- **試験対策**：記述・選択式問題対策 ※計算だけでなく、理論や定義の理解、応用力が問われる

④受験合格率

- **合格率**：約20～35%程度（年により変動）
- **合格ライン**：100点満点で60点以上

⑤資格取得後のステータス

- **更新・維持費**：なし
- **資格の有効期限**：科目合格10年間
- **認定証や資格証の発行**：あり（合格者には認定証発行）

⑥資格の活用事例

- **どの職務に役立つか**
 - ・ データサイエンティスト、アナリスト、リサーチャー、大学院進学、調査機関・公的機関

⑦取得後のキャリアパス

- **資格取得後の進路**
 - ・ 大学院進学（統計・情報系）、データサイエンティスト職、調査研究職、官公庁の統計職
- **キャリアアップの可能性**
 - ・ 統計検定1級、データサイエンティスト検定、数理・AI分野の専門資格などへのステップアップとして有効

統計検定 2級



①基本情報

- **提供団体**：一般財団法人 統計質保証推進協会（JSAQ）／統計検定事務局
- **対象者**：統計学の基礎から応用までを体系的に学びたい大学生・大学院生、文理問わず統計リテラシーを高めたい方
- **試験内容**：記述統計・推測統計の理論と手法、確率分布・検定・回帰分析など統計学の基本的な考え方と活用力を評価
※電卓の持ち込み可（条件あり）
- **試験概要**：試験時間90分/出題数25～30問

②特徴とメリット

- **学べる内容**
 - ・ 確率分布、母集団と標本、推定と検定、分散分析、回帰分析、統計的仮説検定、データの要約と可視化
- **習得できるスキル**
 - ・ 統計的思考力、データ解析の基礎力、エビデンスに基づく判断力
- **メリット**
 - ・ 統計学の基礎を理論と実践の両面から習得できる
 - ・ 大学入試や大学講義にも直結した標準的な内容で、文理問わず応用力が高い
 - ・ データ分析系・マーケティング・AI分野などで評価されるスキルセットを証明できる

③試験の難易度・対策

- **難易度**：中級（10段階中：5）回帰分析や確率分布など、統計学の実用スキルを問う
- **勉強時間の目安**：50～80時間（一般的な時間）※初学者で高校数学以上の知識がない場合：70～100時間
- **学習リソース**：公式問題集、認定テキスト（統計検定対応）、過去問、大学の統計講義資料など
- **試験対策**：教科書の理解＋過去問演習、頻出パターンの理解、記述問題の練習も有効
※文系でも理解できるような内容構成ですが、数式や確率分布の理解も必要となるため、基礎数学の復習があると効果的

④受験合格率

- **合格率**：約40～50%（年により変動）
- **合格ライン**：100点満点で60点以上

⑤資格取得後のステータス

- **更新・維持費**：なし
- **資格の有効期限**：無期限（生涯有効）
- **認定証や資格証の発行**：あり（紙の認定証およびデジタル認定証が発行）
※希望者には合格証書も別途発行可

⑥資格の活用事例

- **どの職務に役立つか**
 - ・ データ分析職、マーケティング、品質管理、教育研究職、行政職など

⑦取得後のキャリアパス

- **資格取得後の進路**
 - ・ 準1級やデータサイエンス系資格（G検定・統計調査士・Python資格）への挑戦に繋がられる
- **キャリアアップの可能性**
 - ・ AI・機械学習・データ分析職などへの基礎力強化、就職活動時のアピールポイントにも有効

統計検定 データサイエンス基礎



①基本情報

- **提供団体**：統計質保証推進協会（JSSQ）/一般社団法人 日本統計学会
- **対象者**：データサイエンスに関心のある大学生・社会人初学者
- **試験内容**：統計リテラシー、データの取り扱い、基礎的な統計手法、オープンデータの理解と活用など
- **試験概要**：試験時間90分/出題数45問程度

②特徴とメリット

- **学べる内容**
 - ・ データサイエンスの基本概念、統計的思考、公共データの活用方法
- **習得できるスキル**
 - ・ 調査票設計・標本抽出法・調査精度の評価・報告書作成能力
- **メリット**
 - ・ 文系・理系を問わず学べる
 - ・ 公的統計データへの理解が深まる
 - ・ 初学者にも優しい設計で基礎力を体系的に習得できる

③試験の難易度・対策

- **難易度**：初級（10段階中：3）
- **勉強時間の目安**：20～60時間（統計初学者の場合）
- **学習リソース**：公式問題集、参考書「データサイエンス入門シリーズ」など
- **試験対策**：過去問題演習、出題範囲の用語理解、グラフ・表の読み取り練習

④受験合格率

- **合格率**：約60～66%（年により変動）
- **合格ライン**：100点満点で、60点以上

⑤資格取得後の ステータス

- **更新・維持費**：なし
- **資格の有効期限**：特に設定なし
- **認定証や資格証の発行**：あり（合格者に「合格証」が発行される）

⑥資格の活用事例

- **どの職務に役立つか**
 - ・ 官公庁、一般企業のマーケティング、教育・研究職など

⑦取得後の キャリアパス

- **資格取得後の進路**
 - ・ 統計業務や調査・分析に関わる職務、調査会社や官公庁での統計職
- **キャリアアップの可能性**
 - ・ 実務でのデータ活用スキル向上により、データ分析担当や企画職への展開が可能

統計検定 データサイエンス発展



①基本情報

- **提供団体**：統計質保証推進協会（JSSQ）/一般社団法人 日本統計学会
- **対象者**：大学・専門学校で統計学・データサイエンスを学んだ経験のある学生や社会人
- **試験内容**：統計学・データサイエンスの応用的な内容（統計解析、データ可視化、機械学習の基礎、モデル構築、因果推論など）
- **試験概要**：試験時間60分/出題数30問程度

②特徴とメリット

- **学べる内容**
 - ・ 実践的な統計解析、データマイニングの初歩、回帰・分類・クラスタリングなどのモデル応用
- **習得できるスキル**
 - ・ 実務で役立つデータ解析手法、結果の解釈力、再現可能な分析のためのリテラシー
- **メリット**
 - ・ データサイエンス職へのステップ
 - ・ 実務で使える応用的知識
 - ・ AI・機械学習の土台構築にも有効

③試験の難易度・対策

- **難易度**：中級（10段階中：6）
- **勉強時間の目安**：50～200時間（統計の基礎を習得済みであることが前提）
- **学習リソース**：公式ガイドブック『データサイエンス発展』、過去問題集、JMOOC関連講座など
- **試験対策**：統計モデリング・評価指標の理解、分析結果の妥当性判断力の養成、Python/Rを活用した実践的演習

④受験合格率

- **合格率**：約50～65%前後（年により変動）
- **合格ライン**：100点満点で、60点以上

⑤資格取得後の ステータス

- **更新・維持費**：なし
- **資格の有効期限**：特に設定なし
- **認定証や資格証の発行**：あり（合格者に「合格証」が発行される）

⑥資格の活用事例

- **どの職務に役立つか**
 - ・ データサイエンティスト、マーケティングアナリスト、商品企画・経営企画職など

⑦取得後の キャリアパス

- **資格取得後の進路**
 - ・ 統計業務や調査・分析に関わる職務、調査会社や官公庁での統計職
- **キャリアアップの可能性**
 - ・ 分析・企画職でのスキル証明として有効。データ利活用を進める企業内でのリーダー的役割への道も

統計検定 データサイエンス エキスパート



①基本情報

- **提供団体**：一般財団法人 統計質保証推進協会（JPQA）
- **対象者**：データサイエンス分野での高度な応用力を身につけたい大学生、修士課程の学生、社会人初級アナリスト
- **試験内容**：ビジネス課題を統計・機械学習・AI技術を用いて解決できるかどうかを問う 実データを想定した課題設計や分析プロセスの理解も含まれる ※電卓の持ち込み可（条件あり）
- **試験概要**：試験時間90分/出題数40問程度

②特徴とメリット

- **学べる内容**
 - ・ ビジネス課題の構造化、探索的データ解析、機械学習モデルの構築、分析結果のプレゼン・提案力
- **習得できるスキル**
 - ・ 実データを活用した分析設計力、機械学習手法の選定と評価、ビジネス課題との紐づけ能力
- **メリット**
 - ・ 実務を意識したデータ分析スキルの証明
 - ・ 文理を問わず高いレベルでの分析力を習得
 - ・ キャリア形成における強力な武器になる

③試験の難易度・対策

- **難易度**：中級（10段階中：7）分析設計、実装、評価を総合的に問う ※実務経験者向け
- **勉強時間の目安**：150～200時間
- **学習リソース**：公式テキスト、データサイエンス教材（Python・R）、Kaggleの類似課題など
- **試験対策**：過去問・模擬課題の演習、EDA（探索的データ解析）の習得、可視化とレポート力のトレーニングが効果的

④受験合格率

- **合格率**：およそ30%前後（非公開の為目安）
- **合格ライン**：100点満点で60点以上

⑤資格取得後のステータス

- **更新・維持費**：なし（更新不要）
- **資格の有効期限**：特に設定なし
- **限認定証や資格証の発行**：あり（合格者に合格証およびオープンバッジが付与）

⑥資格の活用事例

● どの職務に役立つか

- ・ データサイエンティスト、AIエンジニア、アナリスト、コンサルタント、DX推進担当

⑦取得後のキャリアパス

● 資格取得後の進路

- ・ G検定・E資格などAI関連資格や、Kaggleなど実践的な分析活動へのステップアップ

● キャリアアップの可能性

- ・ 実務データ分析における企画・設計・提案フェーズでの主導的な役割を担える人材へ成長可能

データサイエンティスト 検定リテラシーレベル



①基本情報

- **提供団体**：一般社団法人データサイエンティスト協会
- **対象者**：データ分析やAI活用に関心があり、データサイエンティストとしての基礎力を身につけたい大学生や初学者
- **試験内容**：データサイエンティストとして必要な「ビジネスカ」「データサイエンスカ」「データエンジニアリングカ」の3領域に関する基礎知識を問う AI・統計・プログラミング・ビジネス応用に関する内容が出題
- **試験概要**：試験時間100分/出題数100問

②特徴とメリット

- **学べる内容**
 - ・ 統計学の基礎、機械学習の概念、データ前処理、可視化、Pythonなどの基本技術、ビジネスでの活用方法
- **習得できるスキル**
 - ・ データ活用に必要な横断的スキル、問題設定から分析、提案までの一連の流れの理解
- **メリット**
 - ・ 文理問わずデータ人材としての能力証明に有効
 - ・ 実務で活かせる分析プロセスの理解
 - ・ 就職活動でのアピールにも効果的

③試験の難易度・対策

- **難易度**：中級（10段階中：6）統計・機械学習の基礎とビジネス応用を問う ※広い知識が必要
- **勉強時間の目安**：60～100時間（統計・Python初学者の場合）
- **学習リソース**：公式ガイドブック、過去問題集、オンライン講座（YouTubeや有料講座など）
- **試験対策**：公式ガイドの理解と章末問題演習、模擬問題でのアウトプット練習が効果的

④受験合格率

- **合格率**：38～66%程度（年により変動あり）
- **合格ライン**：77%程度が目安

⑤資格取得後の ステータス

- **更新・維持費**：なし（更新不要）
- **資格の有効期限**：無期限
- **限認定証や資格証の発行**：あり
（合格者に電子証明書・オープンバッジが付与）

⑥資格の活用事例

- どの職務に役立つか
 - ・ データサイエンティスト、ビジネスアナリスト、DX推進担当、AI企画職 など

⑦取得後の キャリアパス

- **資格取得後の進路**
 - ・ より高度な「G検定」や「統計検定 準1級」、機械学習エンジニアやAIエンジニアへの道にもつながる
- **キャリアアップの可能性**
 - ・ DX人材としての基盤を築き、専門的なデータ分析・AI設計業務へのステップアップが可能

ウェブ解析士 (講習及び試験)



①基本情報

- **提供団体**：一般社団法人 ウェブ解析士協会（WACA）
- **対象者**：Webサイト運用やマーケティングに関わる学生・社会人、企業の広報・販促担当、Web制作者など
- **試験内容**：Google アナリティクスを中心としたアクセス解析、KPI設計、SEO・広告などのWebマーケティング基礎
- **試験概要**：試験時間90分/出題数50問

②特徴とメリット

- **学べる内容**
 - ・ Webマーケティングの基礎知識、Googleアナリティクスの活用、データに基づいた改善手法
- **習得できるスキル**
 - ・ イト分析力、マーケティング戦略の理解、レポート作成スキル
- **メリット**
 - ・ 実務直結の知識が学べる
 - ・ 初心者でも取り組みやすい内容
 - ・ 認定講座受講で学習支援あり

③試験の難易度・対策

- **難易度**：中級（10段階中：4）
- **勉強時間の目安**：40～60時間（Webマーケティング未経験者は40時間程度）
- **学習リソース**：公式テキスト・問題集、認定講座（対面・オンライン）
- **試験対策**：用語理解と実務への応用理解をバランスよく学ぶこと。過去問題演習と講座受講が効果的

④受験合格率

- **合格率**：約60～85%
- **合格ライン**：正答率70%以上（非公開）

⑤資格取得後のステータス

- **更新・維持費**：あり（年会費制：6,600円/年）
- **資格の有効期限**：1年更新制（毎年の年会費支払いと所定の条件で更新）
- **認定証や資格証の発行**：あり
（合格者には認定証と資格証が発行され、ウェブ解析士として名乗れる）

⑥資格の活用事例

- **どの職務に役立つか**
 - ・ Webマーケター、コンテンツディレクター、広告運用担当、Web制作者

⑦取得後のキャリアパス

- **資格取得後の進路**
 - ・ 上級ウェブ解析士 → ウェブ解析士マスター、またはGoogleアナリティクス認定資格やマーケ系資格へ展開
- **キャリアアップの可能性**
 - ・ キャリアアップの可能性：Webマーケティング担当としての実務スキル向上、コンサルティングスキル習得への足がかり

資格 受験 実施スケジュール

■ スケジュール

AWS資格はAWS(入門・生成AI・ECサイト構築)トレーニングとセット受験になります。
 資格申込フォームからの申込は行えません。
 AWSトレーニングにお申込みいただき、当日に申込方法のご案内をさせていただきます。

資格名称	期間	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ・ AWS Certified Cloud Practitioner ・ AWS Certified AI Practitioner ・ AWS Certified Solutions Architect – Associate 	①申込期間			申込：(8月~9月)							
	②受験期間						受験：11月~2026年1月 推奨				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 統計検定 準1級 ・ 統計検定 2級 ・ 統計検定 データサイエンス基礎 ・ 統計検定 データサイエンス発展 ・ 統計検定 データサイエンスエキスパート 	①申込期間	申込：(6月~10月20日)									
	②受験期間			受験：8月~12月 推奨							
ウェブ解析士	①申込受付	申込：(6月~7月)									
	④受験期間		● 7/2説明会実施	受験：9月~12月							
データサイエンティスト検定 リテラシーレベル	①申込期間	申込：(6月~9月20日)									
	②受験期間		● 7/10説明会実施				● 11月実施				

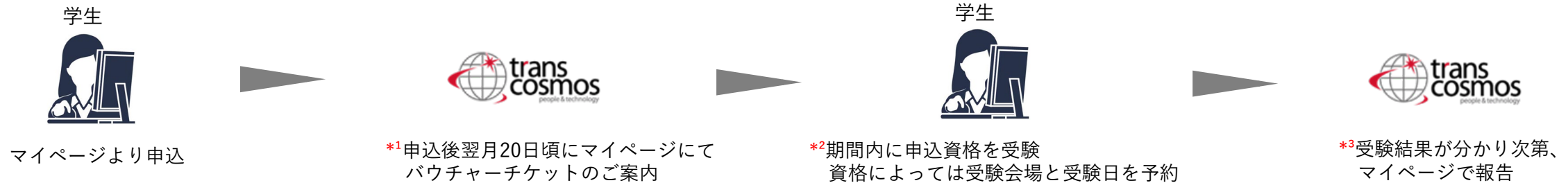
AWSトレーニング受講者は、
他資格の申込は不可となります。

①資格 受験申込フローについて

【対象資格】

- ・ AWS Certified Cloud Practitioner
- ・ AWS Certified Solutions Architect – Associate
- ・ 統計検定 2級
- ・ 統計検定 データサイエンス発展
- ・ AWS Certified AI Practitioner
- ・ 統計検定 準1級
- ・ 統計検定 データサイエンス基礎
- ・ 統計検定 データサイエンスエキスパート

AWS・統計検定



内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①申込（毎月20日ㄨ）	申込期間									
②受験・受講対応		受験推奨期間								
③合否連絡			合否連絡期間							★

2月26日(金)
締切

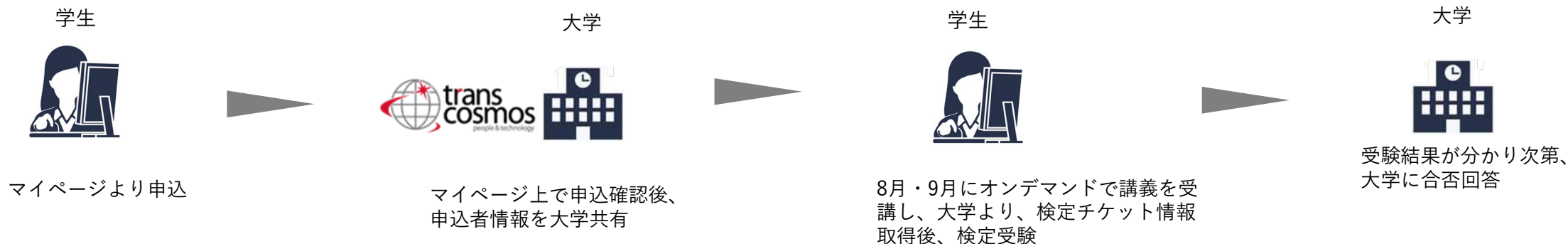
- ・ 申込は**10月20日（火）**までです。
- ・ 受験の申し込みをいただいた方は、**合否連絡を必須**とさせていただきます。**（2月26日（金）締切）** 必要に応じて**大学側からの確認も依頼**させていただきます。
- ・ 毎月1日～20日までの申込を集約し、業者へ発注を行い、納品後、学生様にチケット情報の案内を行います
※21日～月末の期間の申込は、翌月1日～20日の期間の申込と合わせて発注

②資格 受験申込フローについて

【対象資格】

- ・ウェブ解析士（講習及び試験）

ウェブ解析士（講習及び試験）



学生の動き：スケジュール

内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①申込		申込期間								
②受験・受講対応 (8・9月にオンデマンド講義受講)										
③合否連絡										

7月2日(木) 説明会実施

講義受講

受験期間

合否連絡期間

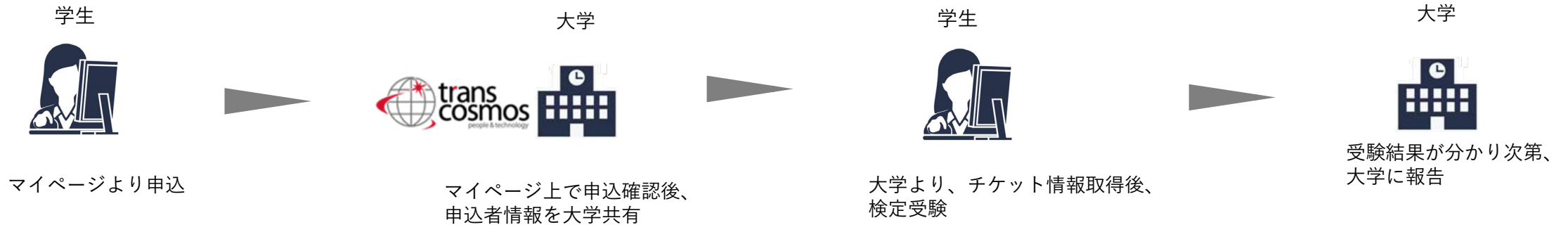
・スケジュール期間で受験、合否回答をお願いいたします。

③資格 受験申込フローについて

【対象資格】

- ・データサイエンティスト検定リテラシーレベル

データサイエンティスト検定リテラシーレベル



学生の動き：スケジュール

内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①申込	申込期間 (~9/20)									
②受験・受講対応		●				受験期間				
③合否連絡				7月10日(金) 説明会実施				合否連絡		

・スケジュール期間で受験、合否回答をお願いいたします。